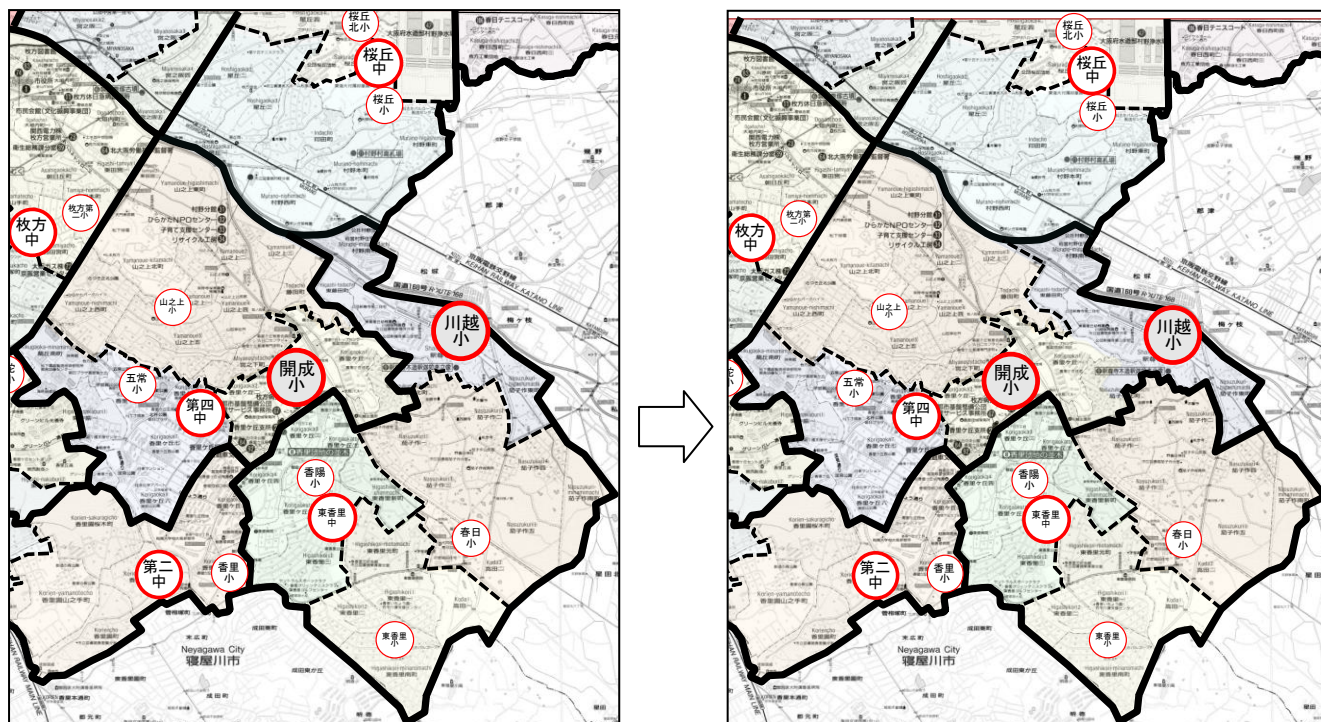


★ (方策番号) 南部B

(1) 川越小学校

● 開成小学校と新設統合する。  
 ア. 開成小学校敷地に統合校を設置する。



1. 学校規模

(1) 学級数・児童数の将来推計

(現行推計)

		H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H35	H40	H45	H50	H55
川越小	学級数 (CL)	12 (2)	12	11	10	9	9	8	10	6	6	6	6
	児童数 (人)	312 (9)	298	271	250	231	224	206	228	209	190	164	136
開成小	学級数 (CL)	19 (4)	19	17	17	17	16	15	12	12	10	12	12
	児童数 (人)	610 (21)	601	550	525	489	450	404	312	243	275	307	293

(統合後の推計)

		H27				H31	H32	H33	H35	H40	H45	H50	H55
統合校	学級数 (CL)	27 (5)				22	21	20	18	16	16	16	12
	児童数 (人)	922 (30)				720	674	610	540	452	465	471	429

(2) 住宅開発等の情報

- 川越小学校区は、一部に農地は存在するものの、ほとんどが既存の住宅地であり、新規の大規模住宅開発は見込めない。
- 開成小学校区は、校区のほとんどが旧日本住宅公団が開発した住宅地であったが、近年、マンション等へのリニューアルは見られるものの、児童数を著しく増加するほどの住宅開発は見込めない。

2. 施設規模

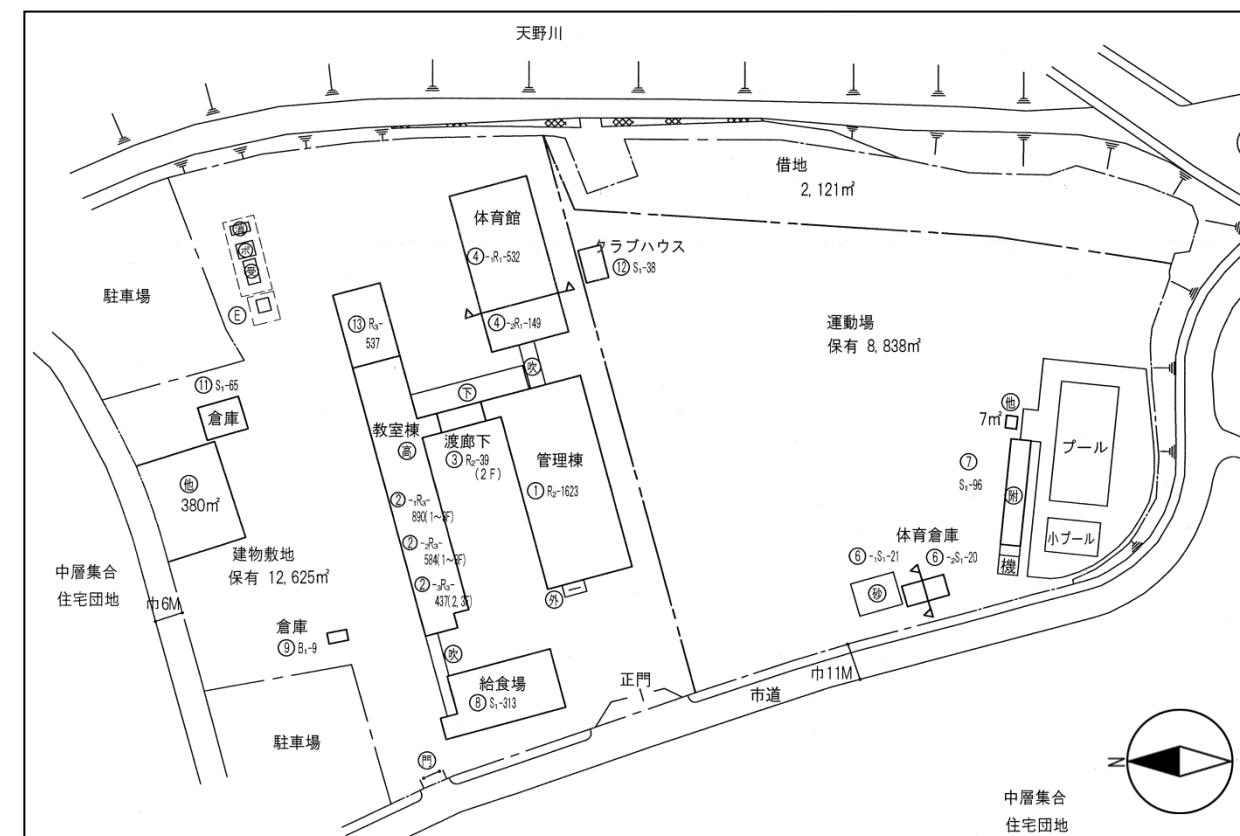
(1) 学校用地の状況

	建物敷地面積	運動場面積	その他面積	敷地面積	形状等
川越小学校	12,625 m <sup>2</sup>	10,959 m <sup>2</sup>	—	23,584 m <sup>2</sup>	法敷なし。ほぼ整形。借地 2,121 m <sup>2</sup> (大阪府：無償)
開成小学校	9,176 m <sup>2</sup>	9,704 m <sup>2</sup>	—	18,880 m <sup>2</sup>	法敷あり。教室棟⑧、プール法敷の上段に立地。整形。

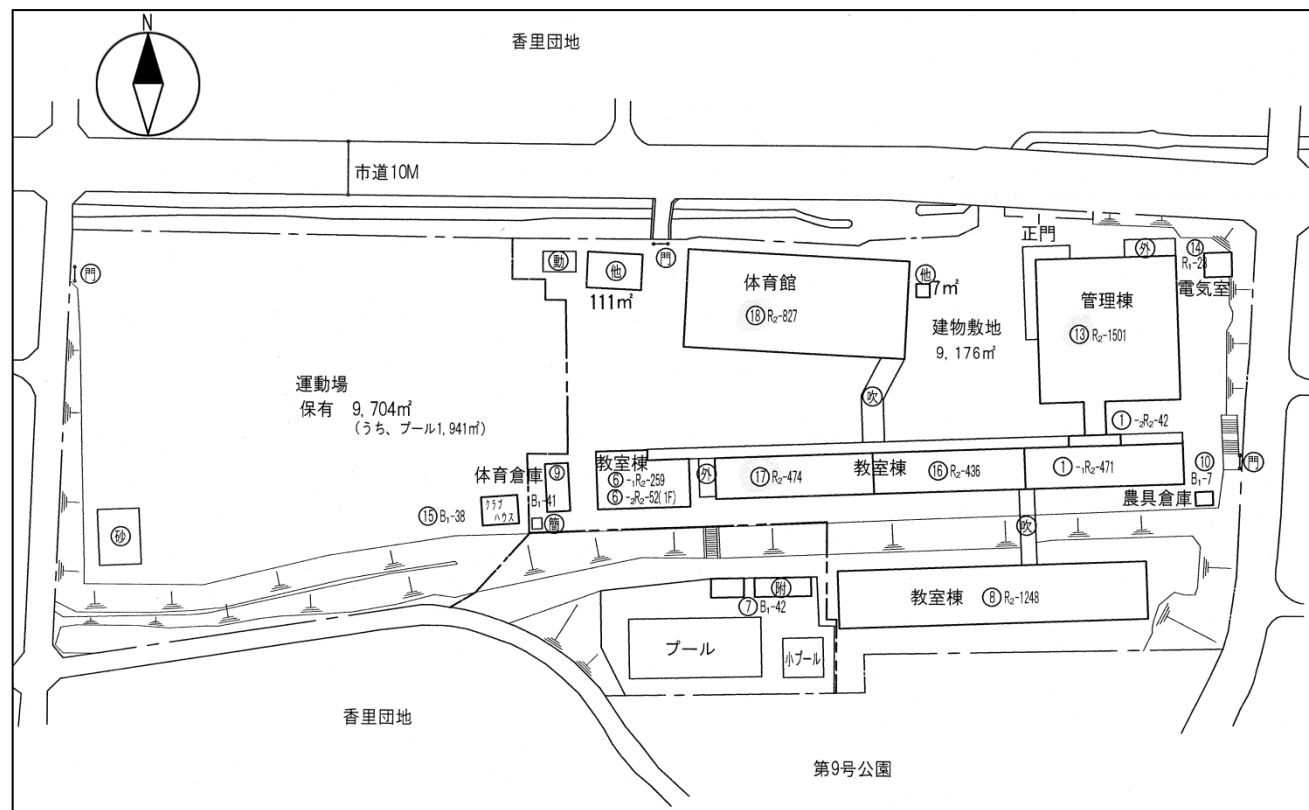
\* 小学校設置基準面積 (運動場)

統合した場合の最大児童数 (720人)	7,200 m <sup>2</sup> (*2,400 m <sup>2</sup> +10 m <sup>2</sup> × (720-240人))
---------------------	--

(川越小学校 配置図)



(開成小学校 配置図)



(2) 建物の状況

学校名	棟の種類	棟番号	構造区分	階数	建築年	保有面積
川越小学校	校舎(保有教室数:20教室)					4,071
	管理棟	1	R	2	S52.3.1	1,623
	教室棟	2	R	3	S52.3.1	1,911
	教室棟	13	R	3	S57.3.1	537
	体育館	4	R	1	S52.3.1	681
	その他					288
開成小学校	校舎(保有教室数:30教室)					4,483
	教室棟	1	R	2	S34.4.1	513
	教室棟	6	R	2	S39.3.1	311
	教室棟	8	R	2	S42.3.1	1,248
	管理棟	13	R	2	H2.8.1	1,501
	教室棟	16	R	2	S34.4.1	436
	教室棟	17	R	2	S34.4.1	474
	体育館	18	R	2	H23.2.1	827
	その他					151

\* 小学校設置基準面積 (校舎)

統合した場合の最大児童数 (720人)	3,420 m <sup>2</sup> (*2,700 m <sup>2</sup> + 3 m <sup>2</sup> × (720人 - 480人))
---------------------	---

\* その他 留守家庭児童会室の状況

学校名	定員 (H27.4.1 現在児童数)	余裕教室使用状況	専用施設床面積 (m <sup>2</sup> )
川越小学校	50 (48)	—	168.39
開成小学校	124 (117)	1 教室	174.00

(3) 施設整備の予定

(川越小学校) 学校施設整備計画の第2期実施計画整備候補施設 (建築後 30年以上)

(開成小学校) 学校施設整備計画の第1期実施計画整備候補施設 (建築後 40年以上)

(4) 増築等の必要性

	統 合 校
	ア 開成小学校敷地に設置
最大時における必要教室数	34 教室 (通常学級 22CL + 支援学級 5CL + 多目的室等 7 教室)
パーテーション対応時	31 教室 (通常学級 22CL + 支援学級 4 教室 + 多目的室等 5 教室)
不足数 (パーテーション対応時)	4 教室 (1 教室)
増築等の方法	増築スペースなし

### 3. 通学区域

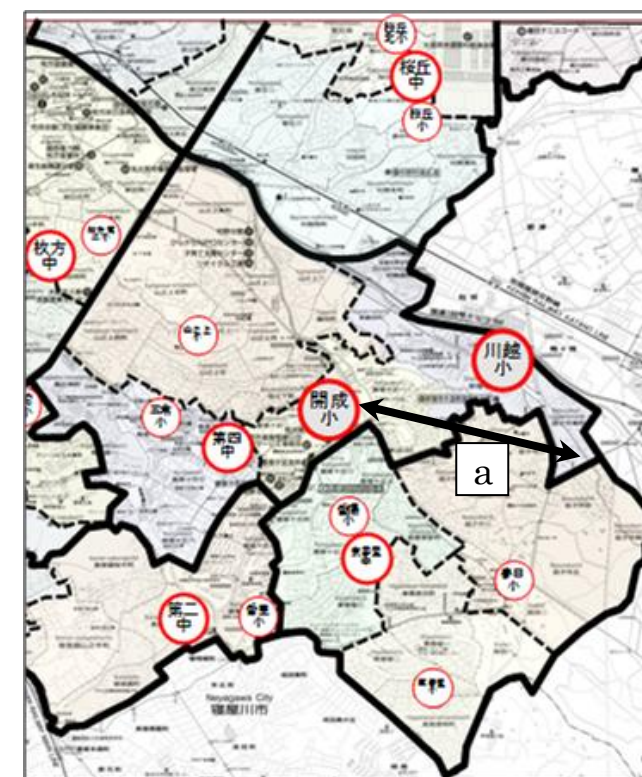
(1) 最長通学距離

(現行)

学校名	最長地域	距離
川越小学校	村野南町 3 番付近	約 1.2km
開成小学校	茄子作北町 28 番付近	約 1.2km

(統合後)

統 合 校	最長地域	距離
ア 開成小学校敷地に設置	茄子作東町 26 番付近 …… a	約 2.1km



(2) 校区の状況

	統 合 校
	ア 開成小学校敷地に設置
不自然な通学 様態の有無	春日小学校区、山之上小学校区を通過して通学する地域がある。
地形地物による 地域分断の有無	国道 168 号線、府道枚方交野寝屋川線、市道枚方高田線、天野川、藤田川あり。
校区における 学校の位置	東西方向のやや西、南北方向のほぼ中央に位置する。
通学区域の 広さ・形状	東西方向 1.8km 南北方向 1.9km で、不整形
その他	—

4. 小中連携

	統 合 校
	ア 開成小学校敷地に設置
進学中学校	東香里中学校（川越小学校区） 第四中学校（開成小学校区）
「一小一中の」 接続関係の確保	統合は、中学校区を跨ぐため「一小一中」の接続関係とならない。なお、「一小一中」とするため中学校区をすべて第四中校区にする場合、現行に比べ通学距離が長くなる区域（茄子作東町等）が発生する。
中学校区を変更 する場合における 中学校の学校規模	○第四中学校区とした場合 ・第四中：大規模校（平成 29 年度 26CL。） ※平成 33 年度から適正規模 ・東香里中：適正規模（平成 33 年度 18CL。最小学級数 12CL）
小中一貫校（一体型） の設置可能性	なし。
統合後中学校区にお ける最長通学距離	第四中：茄子作東町 26 番付近…約 2.6km
通学支援策等	—

5. 地域連携

(1) 自治会等の区域

- ・学校統合後の自治会分断の有無：なし。

(2) 学校の沿革等

	川越小学校	開成小学校
設置年月	・昭和 52 年 春日小、山之上小から 分離開校	・昭和 34 年 旧川越小を前身に開校
沿革等	・平成 12 年 村野小の一部を統合	・昭和 37 年 五常小に一部分離 ・昭和 39 年 桜丘小に一部分離 ・昭和 41 年 春日小に一部分離 ・昭和 44 年 山之上小に一部分離 ・昭和 46 年 香陽小に一部分離